

共同募金会への除菌・消臭機及び地上デジタルテレビの寄贈について

神奈川県遊技場協同組合(理事長：関根貞雄)と神奈川県福祉事業協会(会長：関根貞雄)は、平成22年7月28日、社会福祉法人神奈川県共同募金会に対して除菌・消臭機100台と地上デジタルテレビ23台を寄贈いたしました。この寄贈に伴って、社会福祉法人神奈川県共同募金会 山上晃副会長から神奈川県遊技場協同組合と神奈川県福祉事業協会に対し、感謝状が贈られました。

寄贈式の状況は、次のとおりです。

1. 実施日	平成22年7月28日(水)
2. 場所	神奈川県遊技場協同組合会館
3. 寄贈者	神奈川県遊技場協同組合・神奈川県福祉事業協会
4. 寄贈先	○社会福祉法人 神奈川県共同募金会
5. 贈呈物品	○除菌・消臭機100台 約300万円相当 ○地上デジタルテレビ23台 約300万円相当

6. 概要

県遊協と協会は、老人介護施設や乳幼児施設における新型インフルエンザ対策や、これら施設内での消臭対策等に寄与するため、(社)神奈川県共同募金会を通じ、軽費老人ホーム等の老人福祉施設、重症心身障害児施設等の障害者福祉施設及び乳児院等、合計68施設に対し、除菌・消臭・空調機(商品名：ツイン除菌)100台 約300万円相当を寄贈するとともに、障害者入所支援施設23施設に地上デジタル対応型テレビ23台 約300万円相当を寄贈しました。

寄贈式に当たって、関根会長は「私たち業界は、皆様方のために少しでもお手伝いできることがあれば、できる限りのご支援を続けてまいりたいと考えている。これからも各方面への社会貢献活動を続けてまいります。」と挨拶いたしました。

これに対し、共同募金会山上晃副会長は、「この度の数々のご寄贈は感謝に堪えない。特に、除菌・消臭機は、乳幼児施設は勿論、老人福祉施設などの集合施設においては現実問題として必要なものであり、また、地上デジタルテレビも間もなく一斉に切り替えることから、本当にありがたい贈り物です。」と感謝の言葉述べられました。

この贈呈式の模様は、神奈川新聞、毎日新聞でも紹介されました。

